

2022年2月18日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

訪問診察導入患者の臨床経過、療養希望場所の変化についての後方視的研究

2. 研究責任者

海南病院老年内科 野々垣 禪

3. 研究の概要

終末期の療養希望場所としても国民の6割以上が自宅を希望すると報告され、年間死亡者数の増える日本において訪問診察の必要性が高まっています。しかし、日本における訪問診察導入後の臨床経過についての十分な研究がされていないのが現状です。本研究は2014年4月以降に訪問診察導入された方を対象とし、後方視的にカルテより患者背景、介護保険サービスの利用状況、訪問診察導入後の苦痛症状の有無、経口摂取量の変化、生活機能の変化、緊急入院の有無、在宅療養期間、訪問診察開始時の意思決定能力と変化、患者の訪問診察導入時の終末期療養希望場所、訪問診察終了時の療養場所を集積し、訪問診察導入後の臨床経過を明らかにするものです。さらに、2022年2月以降に訪問診察導入された方についても、適宜データの集積を行い、訪問診察導入後の臨床経過について検討をしていく予定です。

当地域での訪問診察依頼件数も増えてきており、訪問診察導入後の臨床経過について検討することは、今後当地域で訪問診察を行う上で有用な情報が得られるものと思います。尚、後方視的研究であるため患者個人への不利益や危険性はありません。

4. 研究方法

①対象となる患者さん

2014年4月1日～2022年1月31日までに訪問診察を導入された方。2022年2月1日以降に訪問診察導入された方についても、適宜データの集積を行う予定です。

②使用する試料等

残余検体：なし

カルテ情報：患者背景、介護保険サービスの利用状況、訪問診察導入後の苦痛症状の有無、経口摂取量の変化、ADL の変化、緊急入院の有無、在宅療養期間、訪問診察開始時の意思決定能力と変化、患者の訪問診察導入時の終末期療養希望場所、訪問診察終了時の療養場所についての情報を使用します。

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 老年内科 野々垣 禪
電話：0567-65-2511（代表）